



山伏に導かれ浄火を渡る御信徒



火を渡り御加持を授かる



四方、中央の護摩壇、鬼門の魔を祓う寶弓の儀



煮えたぎる熱湯を体に掛ける湯加持



人々の願いの書かれた「撫で木」を投入する



お不動様の印を結び毅然と火を渡る

# 震災の記憶、風化はさせぬ

かしょうざんまい

# 火生三昧



山伏達による火渡りの儀、国家安穩・震災早期復興・身体健全・身上安全・災厄消除が念じられる



燃え盛る柴燈護摩壇を囲み、山伏達の読経は道場内に響き渡ってゆく